

保証書

型名	No.2726 0.75A バイク充電器		
保証期間	1年間	お買上げ年月日	年 月 日
お客様	お名前	〒 TEL() - 様	
	お住所	ふりがな	
販売店	住所・店名 TEL		

この度は、弊社製品をお求めいただきありがとうございます。本書は本記載内容で無償修理することをお約束するものです。

- 取扱説明書に従っての正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参の上お買上げの販売店または弊社にご依頼ください。
- 二次的に発生する損失の補償および、下記のような場合には、保証対象には含まれません。
 - 1) 使用上の誤り、あるいはメンテナンス等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
 - 2) 不当な改造や修理による故障および損傷。
 - 3) お買上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
 - 4) ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷。
 - 5) 消耗が起因とする故障および損傷、または消耗品の交換。
 - 6) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは外部要因による故障および損傷。
 - 7) 本書のご提示がない場合。
 - 8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ※なお、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。
 - この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がある場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

大橋産業株式会社

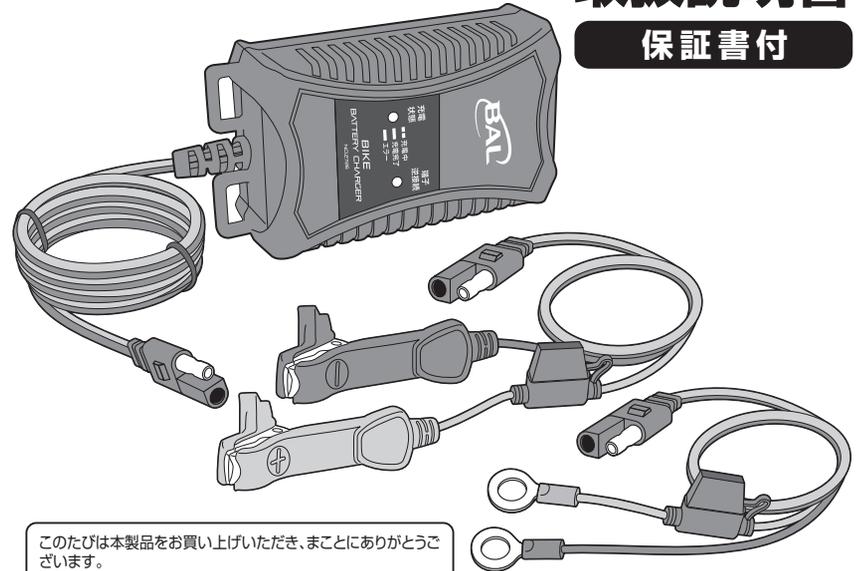
〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号 TEL06-6996-2631

URL <https://www.bal-ohashi.com>

0.75A バイク充電器

取扱説明書

保証書付



このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- 保証書は取扱説明書についております。「お買上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、大切に保管ください。

アフターサービス

- 保証書について

保証書は必ず「お買上げ年月日、お買上げの販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お買上げの販売店から受け取っていたり、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日から1年間です。

この保証書は、本製品のみを保証であって、本製品以外の故障、損害、修理等の責任は一切負いません。
- 修理のご依頼について

保証期間内は恐れ入りますが、製品に保証書を添えて、お買上げの販売店までご持参ください。保証規定にもとづき修理させていただきます。
- アフターサービス等について、ご不明な点がございましたら、お買上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

もくじ

安全にお使いいただくために	P.1~2
用途/充電できるバッテリーの種類・仕様/各部の名称	P.3
使いかた	
バッテリーにつなぐ前に/充電コードをバッテリーにつなぐ	P.4
本体コードと充電コードをつなぐ/電源プラグを差し込む	P.5
充電を始める	P.5~6
充電完了/維持充電を行う場合/使用しないときは	P.7
使用上のご注意/保管上のご注意/ヒューズの交換/保護回路について/製品仕様	P.8
故障と処置	P.9~10
関連商品	P.10

安全にお使いいただくために

ケガや事故を防ぐために本製品を使用前に取扱説明書(本書)をよく読み十分理解されたうえで使用してください。

絵表示について：

この取扱説明書に示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じると想定される内容を「危険」、「警告」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要なことですのでよく理解し、必ずお守りください。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■表示について

重要

この表示のある記載内容は、ご使用になるうえで非常に重要な内容を示しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。



この表示のある記載内容は、注意事項を示しています。



よくあるお問い合わせをまとめています。



危険

重要

漏電や感電、火災、ケガの原因になりますので、必ず以下の内容をお守りください。

- 製品本来の用途以外では絶対に使用しないでください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として設計・製造されています。海外での使用はできません。
- 本製品はDC12V鉛バッテリー専用です。他の電圧のバッテリーへの充電や、他の用途で使用しないでください。本製品の過熱・発火やバッテリーが過熱・爆発するなど思わぬ事故が発生する恐れがあります。
- 分解、改造は絶対にしないでください。
- バッテリーは充電中に可燃性ガスを発生します。火花を発生させたり、タバコや火気の近くで使用しないでください。バッテリーへの引火、爆発、火災の原因となります。
- 充電中はバッテリー周辺の十分な換気を行ってください。
- ガソリン、オイルなどの可燃物の周囲や法令で第一、第二類危険個所に指定されている場所では使用しないでください。火災や引火爆発する原因となります。
- 子供や乳幼児の手の届く場所で使用しないでください。
- 安全に対する責任能力を有する者による監督、指導がない場合、製品の安全に対する責任能力・身体的能力・感覚能力・精神的能力を有していない方または知識・経験を持たない方(子供を含む)には使用させないでください。
- 本製品はAC100V入力専用です。他の電圧では使用しないでください。
- 本製品をバッテリーに並列接続して充電することはおやめください。



警告

重要

漏電、感電、火災、ケガの原因になりますので、必ず以下の内容をお守りください。

- P.3の「■充電できるバッテリーの種類・仕様」に記載されている種類、仕様以外のバッテリーに使用しないでください。
- ニッケルバッテリー・ニッケル水素バッテリー・リチウムイオンバッテリーの充電に使用しないでください。適合外バッテリーへの充電または、その他の用途で使用した場合、充電器の過熱・発火・発煙や、バッテリーの液漏れ・発熱・発火の原因となります。
- 一次電池(アルカリ乾電池、マンガン乾電池など)に充電しないでください。液漏れ・発熱・発火の原因となります。
- 本製品や充電しているバッテリーに、発煙、過熱や異常音、臭異などの現象が発生した場合は、電源プラグを家庭用コンセントから抜き充電クリップをバッテリーターミナルから取り外して使用を中止し、弊社またはお買い上げの販売店に連絡してください。
- 本製品でバッテリー充電する際は、異常が発生してもすぐに対応できる環境で充電してください。**
- 電源プラグおよび本体コード、充電コードが損傷している場合は使用せず、弊社またはお買い上げの販売店まで連絡してください。
- 本体コードや充電コードを無理に曲げたり、上に物を乗せたりしないでください。
- 極端に長い延長コードを使用すると、入力電圧の低下により製品に不具合が発生する可能性があります。
- 以下のような場所で使用しないでください。
 - ・落下しやすい場所・直射日光が当たったり、高温になる場所
 - ・振動の多い場所・塩害やほこりの多い場所
 - ・化学性ガスの被害を受ける場所
- 本製品の上に重いものを乗せないでください。
- 長時間維持充電を行う場合は定期的にバッテリー液の液面や状態を確認してください。そのまま充電を続けると、バッテリーの発熱・発火の原因となります。
- 劣化したバッテリーに充電を行った場合、バッテリーが過熱、液漏れする恐れがあります。このような現象が発生した場合は、すぐに充電を中止してください。
- バッテリーを順次取り替えて本製品を連続で使用しないでください。本製品の故障の原因となります。
- 本製品は民生機器です。**業務用には使用できません。**
- 医療機器に類するものや社会的・公共的に重要な機器、事業用機器には使用できません。
- 使用温度範囲内(0℃~40℃)で使用してください。
- 充電クリップをバッテリーに付け外しするときは、本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、充電クリップの付け外しは以下の手順で極性に注意して行ってください。
 - 【取付け】
 - 充電クリップ(赤)をバッテリーターミナルのプラス端子につなぐ →
 - 充電クリップ(黒)をバッテリーターミナルのマイナス端子につなぐ →
 - 本製品の電源プラグをコンセントに差し込む
 - 【取外し】
 - 本製品の電源プラグをコンセントから抜く →
 - 充電クリップ(黒)をバッテリーターミナルのマイナス端子から外す →
 - 充電クリップ(赤)をバッテリーターミナルのプラス端子から外す
- 屋内仕様に設計されているので、屋外では使用しないでください。

■ 用途

以下に記載されている仕様のDC12Vバイク用バッテリーの充電。

■ 充電できるバッテリーの種類・仕様 **重要**

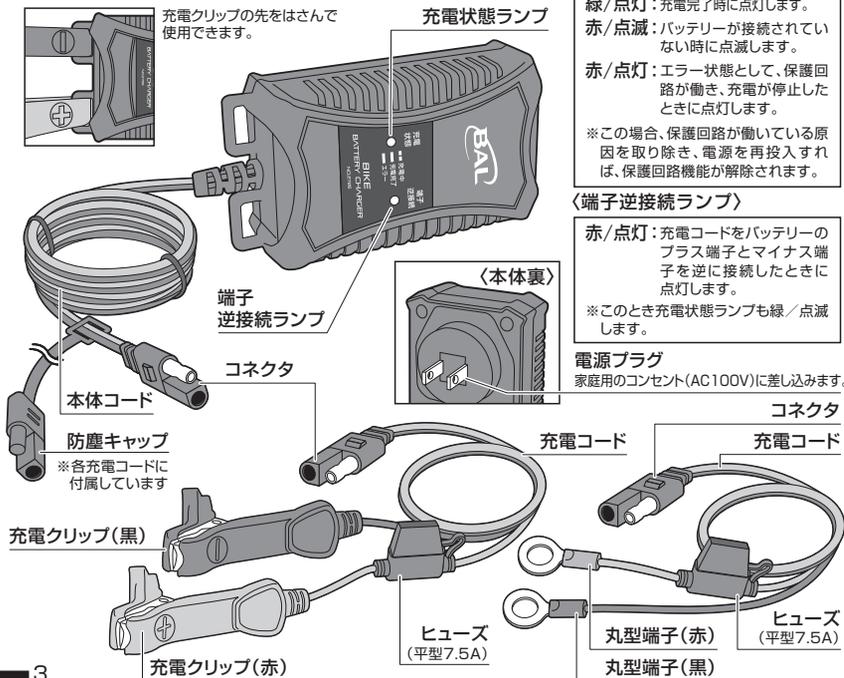
電圧：DC12V / バッテリー容量：2.3Ah～30Ah（10時間率容量）

- オープン（開放型）バッテリー  バッテリーの上面にある液口栓（バッテリー液を補充する穴の栓）を開けることができるタイプ
- シールド（密閉型）バッテリー  バッテリー液の補充が不要のタイプ
- AGM（ドライセル）バッテリー  完全密閉されており、横に倒した状態でも使用できるタイプ
※バッテリーの種類によって約80%の充電になる場合があります。詳しくはバッテリーメーカーへお問い合わせください。

- ⚠** 上記バッテリーの種類、仕様に適合していても右のようなバッテリーには充電しません。
- 本体コードと充電コードをつなぎ、本製品とバッテリーを接続している状態で、バッテリーの端子電圧がDC5V以下に低下しているバッテリー
 - 過放電しているバッテリー（50%以上放電しているバッテリー・放電したまま放置したバッテリー）
 - 使用経過年数の長いバッテリー

※ニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリー、リチウムバッテリー、一次電池（アルカリ乾電池、マンガン乾電池）の充電に使用しないでください。

■ 各部の名称



＜充電状態ランプ表示＞

緑/点滅：充電時に点滅します。
緑/点灯：充電完了時に点灯します。
赤/点滅：バッテリーが接続されていない時に点滅します。
赤/点灯：エラー状態として、保護回路が働 き、充電が停止したときに点灯します。
※この場合、保護回路が働いている原因を取り除き、電源を再投入すれば、保護回路機能が解除されます。

＜端子逆接続ランプ＞

赤/点灯：充電コードをバッテリーのプラス端子とマイナス端子を逆に接続したときに点灯します。
※このとき充電状態ランプも緑/点滅します。

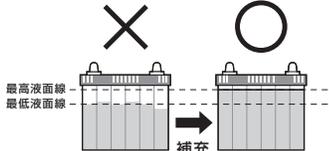
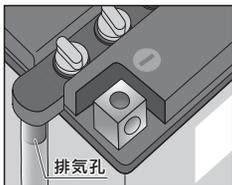
■ 使いかた

重要

以下の手順でバッテリーを充電します。

- ① バッテリーにつなぐ → ② 電源プラグを差し込む → ③ 充電を始める → ④ 充電完了

バッテリーにつなぐ前に

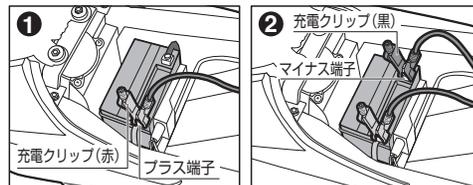
- ① 充電するバッテリーが本製品で充電できる種類・仕様であることを確認してください。（P.3参照）
※バッテリーの端子電圧がDC5V以下まで低下している場合や、劣化が著しい場合は充電できないことがあります。
- ② オープンバッテリーの場合、バッテリー液の液面を確認してください。液面が低下している場合は最高液面線までバッテリー液を補充してください。そのまま充電すると、過熱、爆発の原因になります。（バッテリー液の補充のしかたはバッテリーの取扱説明書をご確認ください。）

- ③ 本体コード、充電コード、充電クリップ、電源プラグに損傷がないことを確認してください。
- ④ バッテリーの端子に腐食物が付着している場合は、市販のワイヤーブラシや目の細かい紙やすりなどで腐食物を取り除いてください。
- ⑤ バッテリーに排気孔がある場合は点検して、詰まりなどがあれば、取り除いてください。
排気孔が詰まった状態で充電すると、充電中に発生するガスによりバッテリーの内圧が上昇し、バッテリーが破損することがあります。


① 充電コードをバッテリーにつなぐ

バッテリーを車両に搭載したままで充電することができます。

充電クリップを使用する場合

- ① 充電クリップ（赤）をバッテリーのプラス端子につなぐ
- ② 充電クリップ（黒）をバッテリーのマイナス端子につなぐ
※充電クリップがバッテリーの端子から外れないように、しっかりと正しく接続してください。
※接続する前に充電クリップの固定ネジが緩んでいないことを確認してください。



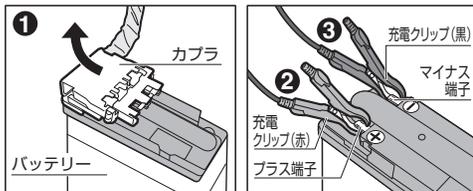
■ 使いかた

重要

平型端子への接続例

- 1 バッテリーからカブラを外す。
- 2 充電クリップ(赤)をバッテリーのプラス端子につなぐ。
- 3 充電クリップ(黒)をバッテリーのマイナス端子につなぐ。

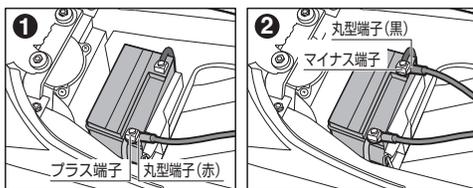
※充電クリップがバッテリーの端子から外れないように、しっかりと正しく接続してください。



丸型端子を使用する場合

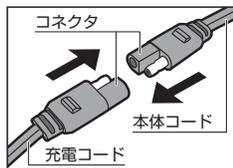
バッテリーに付属しているボルトを使用して丸型端子とバッテリーを接続してください。(車両の配線と共締めしてください。)

- 1 丸型端子(赤)をバッテリーのプラス端子につなぐ。
- 2 丸型端子(黒)をバッテリーのマイナス端子につなぐ。



2 本体コードと充電コードをつなぐ

本体コードのコネクタと、充電コードのコネクタをつないでください。

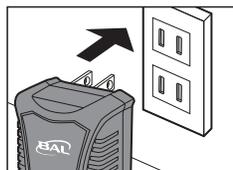


3 電源プラグを差し込む

電源プラグを家庭用のコンセントに差し込んでください。

※家庭用のコンセントと車両が離れている場合は、市販の延長コードを使用してください。

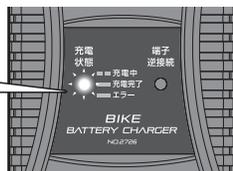
極端に長い延長コードを使用すると、入力電圧の低下により製品に不具合が発生する可能性があります。



4 充電を始める

自動的に充電が始まり、充電状態ランプが緑色に点滅します。

充電状態ランプが緑色に点滅して充電が始まります。



■ 使いかた

重要

? 充電状態ランプが赤色に点滅する。
バッテリーが接続されていません。バッテリーとの接続を確認してください。または、バッテリーの端子電圧がDC5V以下になっています。 ※電圧がDC5V以下は充電できません。 P.9 故障と処置の項目を確認してください。

? 端子逆接続ランプが赤色に点灯する。
充電コードのプラス(赤)とマイナス(黒)を逆につないでいます。充電クリップまたは丸型端子をバッテリーの端子から一度取り外して、正しく接続しなおしてください。

バッテリー回復機能

充電状態ランプが緑色に点滅している状態で、バッテリーの端子電圧がDC5V~11Vの場合、自動的に回復充電を行い、バッテリーを活性化させます。

バッテリーの端子電圧がDC11V以上になると通常の充電になります。

※バッテリーの状態によっては回復充電の効果が十分にでない場合があります。

また、セル間がショートしていたり、バッテリーが完全に劣化している場合は、回復充電を行っても回復しません。

過放電したものや放置されたバッテリーに見られる現象に『サルフェーション』があります。サルフェーションが起こっているバッテリーは、極板の反応面積が小さくなっているため、容量が低下し、更に進行すると化学反応そのものが起こらなくなり充電しなくなります。本製品は電圧が低下し、サルフェーションを起こしている可能性があるバッテリーに対して回復充電を行い、極板の反応面積を大きくしてから通常充電を行います。

? 充電を開始するとすぐに充電状態ランプが緑色(充電完了)に点灯する。
緑色に点灯してもエンジンが始動しない場合は、バッテリーが十分に充電されていない可能性があります。この場合、バッテリーの劣化により充電を受け付けられない状態となっていることが考えられますので、バッテリーの交換が必要な場合があります。 詳細はP.9 故障と処置の項目を確認してください。

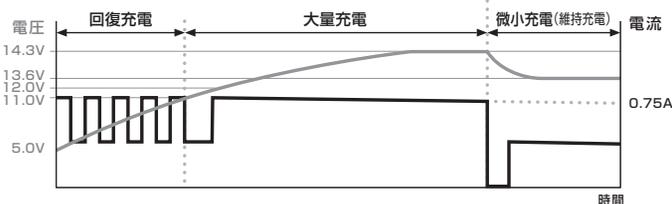
<参考>充電時間について

※右図に記載されている充電時間は新品バッテリーを液温25℃、約50%放電した状態から、充電完了の状態になるまでの目安の時間です。バッテリーの状態によって、充電時間は大きく異なります。

容量	充電時間	車種例
3Ah	約3時間~	原付
6Ah	約5時間~	小・中型バイク
12Ah	約9時間~	大型バイク

充電中の端子電圧と充電電流の関係

※バッテリー状態により充電の進行状況が異なる場合があります。



回復充電	バッテリーの端子電圧がDC5V~DC11Vの場合、回復充電を行い、バッテリーの端子電圧がDC11V以上になると大量充電になります。
大量充電	バッテリー電圧がDC14.3Vに達するまでは定格出力で充電します。ただし、DC11V~DC12Vの場合は、電圧の変動なく安定に充電を行うために、低い電流で充電します。
微小充電(維持充電)	バッテリーの端子電圧を一定に維持した状態で微小電流を流しながら充電を行います。また、バッテリーの端子電圧がDC12.8V以下に低下すると大量充電が再開されます。

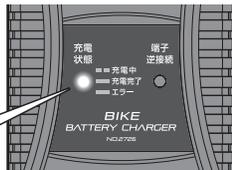
■ 使いかた

重要

⑤ 充電完了

充電状態ランプが緑色に点灯すると充電完了です。
※充電完了の状態になっても、微電流による充電(維持充電)を行っていますので、さらに1~2時間、充電を行うことにより完全に近い状態まで充電します。

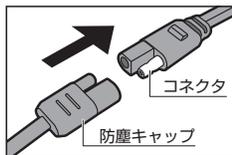
充電状態ランプが緑色に点灯すると充電完了です。



維持充電を行わない場合は、充電クリップをバッテリー端子から取り外してください。丸型端子を接続している場合は、本体コードと充電コードをコネクタ部分で取り外してください。

コネクタに防塵キャップを取り付けてください。

⚠ 充電コードは水濡れや汚れが付着しないような場所に据付してください。
充電コードが車両の回転する部分や可動する箇所に巻き込まれないように、また鋭利な個所に接触しないようにしてください。



? 充電完了の状態になるが、バッテリーが充電されていない。
バッテリーが劣化している可能性があります。市販の比重計などを使用して、バッテリーの状態を確認してください。バッテリーが劣化しているようであれば、新しいバッテリーと交換してください。

? バッテリーに異常が出る。
バッテリーの性能が低下していたり、一度過放電の状態まで放電してしまったバッテリーは、充電の際に過熱や液漏れなどの異常が出る場合があります。充電を中止してバッテリーを交換してください。

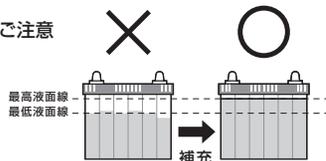
? 充電が完了しない。
P.10 故障と処置の項目を確認してください。

維持充電を行う場合

充電完了後も充電器を接続したままにしておくと、微電流による充電を行い、バッテリーの自己放電を防止します。

オープン(開放型)バッテリーで維持充電を行う場合のご注意

⚠ 長時間維持充電を行う場合
長時間維持充電を行う場合は定期的にバッテリー液の液面や状態を確認してください。そのまま充電を続けると、バッテリーの発熱・発火の原因となります。



使用しないときは

本製品を家庭用のコンセントから抜いてください。

■ 使用上のご注意

重要

- ・落下などの強い衝撃を与えた場合は、使用する前に異常がないことを確認してください。
- ・連続して複数のバッテリーを充電しないでください。
- ・バッテリーは使用しなくても自然放電します。長時間使用しない場合は、2~3ヶ月に一度充電をしてください。*特に外気温が低い時期はこまめに充電をしてください。

■ 保管上のご注意

重要

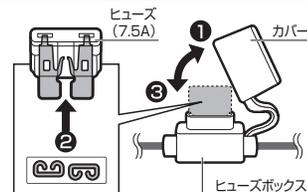
故障の原因になりますので、以下のような場所で保管しないでください。

- ・落下しやすい場所や、振動の多い場所
- ・直射日光が当たったり、高温になる場所
- ・塩害やホコリの多い場所、化学性ガス害を受ける場所

■ ヒューズの交換

- ① 充電コードにあるヒューズボックスのカバーを開けてください。
- ② 中のヒューズを引き抜いて新しいヒューズ(7.5A)と交換してください。
※ヒューズが抜きにくい場合はラジオペンチなどの市販の工具を使って引き抜いてください。
- ③ ヒューズボックスのカバーをしっかりと締めてください。

⚠ ヒューズが切れたときは必ず同じ定格のヒューズと交換してください。定格以外のヒューズや針金などを使用すると異常過熱や発火の原因になります。



■ 保護回路について

出力逆接続保護	充電クリップ(赤)と充電クリップ(黒)をバッテリーのプラス端子、マイナス端子に逆に接続した場合、出力を停止し、待機状態となり端子逆接続ランプが赤色に点灯します。
過熱保護	本体内部の温度が一定の温度まで達した場合、出力を停止し、充電状態ランプが赤色に点灯します。
出力カット保護	バッテリーとの接続が外れると出力をカットし、充電状態ランプが赤色に点滅します。

■ 製品仕様

品番	2726	使用環境温度	0℃~40℃
品名	0.75A バイク充電器	適合バッテリー	DC12V
入力電圧	AC100V 50/60Hz	適合バッテリー容量	2.3Ah~30Ah(10時間率容量)
出力電圧	DC14.3V	外形寸法	63(w)×61(d)×111(h)mm
出力電流(最大)	0.75A	質量	約220g
消費電力	20W(充電時)	本体コード	約3700mm
防塵等級	IP50(IEC規格)	充電コード	約580mm

改良のため、予告なく仕様および外観を変更することがあります。

■ 故障と処置

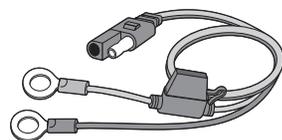
修理のご依頼、およびお問い合わせをされる前に、以下の内容をご確認ください。以下の処置を行っても状態に変化がない場合はお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

現象	原因	処置
充電状態ランプに何も表示されない	電源プラグをコンセントに差し込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
充電を始めるとすぐに充電状態ランプが緑色(充電完了)に点灯する。	バッテリーが劣化していませんか？	バッテリーが劣化している可能性があります。オープンバッテリーの場合は市販の比重計などでバッテリーの状態を確認してください。
	エンジン停止直後や良好なバッテリーに充電していませんか？	良好な状態のバッテリーに充電した場合や維持充電の場合は、すぐに充電完了の状態になることがあります。
充電完了の状態になっているが、充電されていない。	バッテリーが劣化していませんか？	バッテリーの劣化が進み、充電を受け付けない状態になっています。バッテリー交換をおすすめします。
充電状態ランプが赤色に点滅する。	バッテリーが過放電状態になっている。	本製品は端子電圧がDC5V以下のバッテリーには充電しません。市販のテスターなどでバッテリーの端子電圧を測定してください。
	バッテリーとの接続が外れていませんか？	バッテリーとの接続を確認してください。
端子逆接続ランプが赤色に点灯する。	プラス(赤)とマイナス(黒)を逆に接続していませんか？	正しく接続しなおしてください。
充電中のバッテリーから異臭がしたり、バッテリーが熱くなっている。	バッテリーが劣化していませんか？	直ちに使用を中止し、充電器を取り外してください。バッテリーの性能が低下していたり、一度過放電の状態まで放電してしまったバッテリーは充電の際に過熱や液漏れなどの異常がでる場合があります。
充電完了しても、比重が上がらない。		本製品は定電圧で充電しているため、バッテリーの種類や状態によっては比重が上がらないことがあります。

■ 故障と処置

現象	原因	処置
充電完了しない。	車両の待機電力により充電完了しないことがあります。	バッテリーを車両から取り外してバッテリー単体で充電してください。
	バッテリーが劣化していませんか？	バッテリーが劣化している可能性があります。市販の比重計などを使用して状態を確認してください。バッテリーが劣化しているようであれば、新しいバッテリーと交換してください。
充電コードのヒューズが切れている。	充電コードがショートしていませんか？	ショートしている原因を取り除いて、ヒューズを交換してください。(P.8 参照)
	本体が故障しています。	弊社またはお買い上げの販売店にお問い合わせください

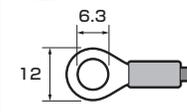
■ 関連商品 (別売)



No.2729
0.75Aバイク充電器 専用
丸型端子付充電コード

コード長：約580mm
質量：50g

丸型端子サイズ(mm)



本製品に付属の充電コード(丸型端子)と同品です。車両搭載バッテリーへあらかじめ接続しておくための充電コードで、バッテリーの補充電が必要ときにワンタッチでバイクチャージャー本体と接続できます。原付やオートバイを複数台お持ちの方は便利に充電できます。

大橋産業株式会社

〒570-0033
大阪府守口市大宮通3丁目1番14号
TEL(06)6996-2631(代) 大阪本社 東京支社
☎ 0120-076-074

製品に関するお問い合わせはホームページのお問い合わせフォームにご連絡ください。

<https://www.bai-ohashi.com/support/contact/>

※製品品番「No.2726」を必ずフォームに記入ください。

